

報道機関各位

## 授業参観での ICT を活用した リンゴの農業体験学習の成果発表会開催について

岩手県立大学ソフトウェア情報学部情報システム構築学講座では、教室にしながら農作物の様子や農作業を観察できる情報システムを開発し、平成 23 年度から赤沢小学校 3 年生のリンゴの農業体験を支援してきました。このシステムは、農地に設置した Web カメラで撮影された農作物や農作業の様子の写真を、モバイル WiFi ルータを経由してサーバに自動的に蓄積しています。

このたび、赤沢小学校 3 年生の授業参観で、地域学習の一環として 5 月から行っている農業体験学習の成果を発表することになりました。発表会では、岩手県立大学の学生も協力し、今年度新たに設置した株式会社セラク社製の圃場モニタリングシステム「みどりボックス」で記録された気温データと、りんごの成長の様子を写した映像を用い、りんごの成長と農作業内容、気温との関係について発表します。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ぜひ当日のご取材及び報道のご配慮をよろしくお願いいたします。

記

### 授業参観での ICT を活用したリンゴの農業体験学習の成果発表会

- 日時：平成 30 年 2 月 15 日(木) 13:30～14:15
- 場所：岩手県紫波町立赤沢小学校視聴覚室
- 参加予定者：赤沢小学校 3 年生 6 人、3 年生の保護者、3 年生の担任、県立大学の学生・教員各 1 人

### 経 緯

- 平成 23 年 5 月から岩手県紫波町の農地に Web カメラを設置し、遠隔地（教室）から農地（リンゴの木）の様子を確認できる農地モニタリングシステム (<http://kansatu.net>) を開発・運用している（図 1～3）。
- 平成 23 年度からは紫波町立赤沢小学校の農業体験学習で農地モニタリングシステムを利用した授業を継続して行っている。
- 平成 24 年度には、農地に人感センサ付き Web カメラを新たに設置し、人感センサの検知信号を受信してから 100 秒間、毎秒 1 枚自動撮影できるシステムへと拡張し（図 4、5）、農作物だけでなく農作業の自動記録も開始している。

### 本成果発表会の特徴的な点

- 株式会社セラク社製の圃場モニタリングシステム「みどりボックス」（図 6）で記録された気温データと、りんごの成長の様子を写した映像を用いて発表する。
- 特に、りんごの実の周囲の長さを定期的に測定した結果から、体験した農作業内容とりんごの成長の変化、気温の変化とりんごの成長の変化との関係について発表する。

<本件の問い合わせ先> 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 准教授 高木正則  
電話 019-694-2566 / Email: [takagi-m@iwate-pu.ac.jp](mailto:takagi-m@iwate-pu.ac.jp)

<別紙資料>



図1 農地モニタリングシステムの画面例

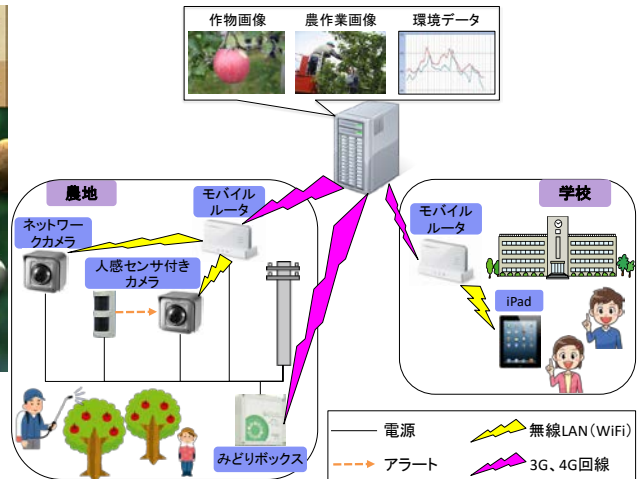


図2 農地モニタリングシステムのシステム構成



図3 農地の写真（紫波町）



図4 人感センサ付きWebカメラ



図5 農作業の閲覧画面



図6 今年度から設置した株式会社セラク製「みどりボックス」